

BUSINESS UNDERSTANDING

株式会社HEROIC

当社事業理解のために

3つの事業で、
意思決定・信頼・医療実装の新しい社会基盤をつくる。



法人向け人的資本基盤

MY HEROIC



制度・契約の信頼基盤

Social Structure



先端医療の実装支援

Cell Reprogramming

HEROICは、「個人の生活不安」を企業価値・社会制度 医療支援に接続する社会OSカンパニーです



HEROICの3つの社会実装事業

1 中核事業 MY HEROIC

社員と家族の生活課題を、AI・専門家
データで行動を促し、企業価値へ
つなげ法人向けプラットフォーム。



収益の中心 | 利用データ・企業接点を蓄積

2 信頼基盤 Social Structure

任意後見・身元保証など、本人の
意思と家族の安心を支える制度と
契約のデジタルトラスト基盤。



安心の基盤 | 契約・専門家・本人意思を接続

3 将来成長領域 Cell Reprogramming

生殖医療・再生医療領域で、研究
医療・倫理・データ管理をつなぐ
社会実装支援。



成長オプション | 医療DX・データ活用へ拡張

HEROICの3事業ポートフォリオ



短期の企業導入、中期の制度基盤化、長期のライフサイエンス拡張を同時に狙う

事業	社会の構造課題	市場ポジション	HEROICの提供価値
 MY HEROIC 企業向けプラットフォーム事業	高齢化・人的資本経営・生活課題の複雑化により、企業は従業員とその家族の私生活起因リスクに十分対応できていない	顧客接点 使われる入口をつくる	1分Chat、AI整理、専門家接続、匿名集計ダッシュボードにより、生活課題を人的資本・ESGデータへ変換
 Social Structure デジタルトラスト事業	任意後見・身元保証は属人的で、意思確認・信用補完・運用の標準化が不十分	信頼基盤 制度・信用に広げる	デジタルトラスト基盤により、任意後見・身元保証を安全・標準化・拡張可能な仕組みに再設計
 Cell Reprogramming ライフサイエンス事業	少子化・生殖医療高度化・再生医療進展に対し、研究から社会実装までをつなぐ基盤が不足	成長領域 中長期の成長機会	セルリプログラミング研究と支援基盤を通じて、生殖医療・再生医療の社会実装を支援

MY HEROIC

生活課題を人的資本価値へつなぐ法人向けプラットフォーム

社員・家族の迷いを整理し、必要な支援へ。利用・行動・変化を匿名集計し、企業の改善判断につなげます。



社員の利用から、企業の改善判断まで



お金・健康・家庭・相続・キャリアの気がかりを、行動につなげる

導入後に確認する指標（10名以上の匿名集計）

確認すること	指標・内容
利用状況	利用率・相談テーマ
行動への接続	情報確認・予約・相談
支援後の変化	不安・生活の余裕

収益モデル

区分	内容
ストック	法人月額・導入料
従量	大学研究データ利用・ 専門家接続
拡張	人的資本レポート・ Social Structure連携



MY HEROIC AI READY ADVISOR

柴田健一

理化学研究所 革新知能統合研究センター
社会における人工知能研究グループ分散型
ビッグデータチーム特別研究員、マセマティ
カルインテリジェンスグループ人工知能安全
性・信頼性ユニット客員研究員。人工知能学
会編集委員。

Social Structure | 任意後見・身元保証のデジタルトラスト基盤

本人の意思と家族の安心を、制度・契約・運用の仕組みで支える



課題と、HEROICが支えること

現在の課題	HEROICの支援
身元保証・将来契約のニーズが拡大	専門家ネットワークによる制度設計・契約支援
意思表示・契約履行が属人的で、標準化が不足	本人意思・契約・保証を一元設計
金融・医療・行政との連携が複雑で、運用負荷が高い	履歴管理・信用補完・運用支援で伴走



収益モデル

初期収益	拡張収益
契約支援・専門家支援	月額管理・履行支援・ スマートコントラクト連携
 将来的にスマートコントラクト型運用へ拡張可能	

事業成長の評価ポイント

	高齢化・制度DXによる基調需要
	信頼・契約・運用の基盤化による参入障壁
	金融・医療・行政・家族支援への横展開
	標準化と運用支援により、継続的な管理収益を目指す

Cell Reprogramming | 生殖医療・再生医療の社会実装支援

研究・医療・倫理・データ管理をつなぎ、先端医療の実装を支える



課題と、HEROICが支えること

市場・構造課題	HEROICの支援
1 少子化・不妊治療の高度化で、生殖医療支援需要が拡大 →	セルリプログラミング研究と医療支援を事業基盤化
2 研究進展に対し、社会実装への橋渡しが不足 →	医師・研究者・法務・倫理の専門家をつなぎ、研究から事業連携まで横断支援
3 倫理・制度・データ管理が分断され、事業化のハードルが高い →	医療・研究データの管理と制度対応を支援



収益モデル

初期収益	拡張収益
医療・研究支援	データ管理・制度／倫理支援・事業連携

研究連携から医療実装・データ基盤まで収益源を拡張

事業成長をみる3つの視点

- 1 少子化・先端医療による長期テーマ性
- 2 医療・倫理・データを横断する支援が参入障壁
- 3 研究機関・医療機関・事業者への連携

少子化・医療高度化・研究進展を、社会実装可能な事業機会へ

3事業のシナジー

MY HEROICを起点に、信頼基盤と医療支援へ広がる成長構造



事業	役割	支援すること	蓄積・展開する価値
 MY HEROIC	顧客接点／ 法人向け人的資本基盤	社員・家族の生活課題を可視化し、 AI・専門家・データで行動を支援	 接点データ
 Social Structure	信頼基盤／ 制度・契約のデジタルトラスト	任意後見・身元保証を標準化し、 契約・保証・履行管理へ拡張	 信頼データ
 Cell Reprogramming	成長領域／ 先端医療の実装支援	生殖医療・再生医療を支援し、 研究・倫理・データ管理を接続	 医療・研究支援

連携による価値の積み上げ



3事業を支える共通基盤

-  専門家ネットワーク | 法務・医療・金融・教育を横断
-  データ設計 | 課題・行動・成果を可視化
-  実装オペレーション | 相談・契約・支援を運用可能に

連携が生む成長価値

- 1 短期・中期・長期の成長テーマを同時保有
- 2 専門家・信頼基盤・データを3事業で再利用
- 3 法人導入から制度DX・医療支援へ拡張

接点・信用・データを積み上げ、単発で終わらない事業ポートフォリオへ

収益モデル：3事業それぞれで収益機会を設計



単一サービス売上ではなく、ストック・従量・連携収益を組み合わせることで伸ばす。

事業	初期収益	拡張収益	伸びる理由
 MY HEROIC	法人月額・導入料	大学研究データ利用、専門家接続、 人的資本レポート	企業が社員・家族の課題支援を 求める流れ
 Social Structure	契約支援・専門家支援	月額管理、履行支援、 スマートコントラクト連携	本人意思・身元保証・将来契約の ニーズ拡大
 Cell Reprogramming	医療・研究支援	データ管理、制度・倫理支援、 事業連携	先端医療の社会実装に 横断支援が必要

1 顧客接点
使われる入口をつくる



2 信頼基盤
制度・信用に広げる



3 成長領域
中長期の成長機会へ

3事業の競争優位性



MY HEROIC

顧客接点 / 法人向け人的資本基盤

- 生活課題を広く受け止める入口
- AI整理 × 専門家接続 × 匿名KPI化
- 使われるほど接点データが蓄積

競争優位

軽い入口 × 広い支援領域



Social Structure

信頼基盤 / 制度・契約のデジタルトラスト

- 任意後見・身元保証を標準化
- 契約・保証・履行管理へ拡張
- 専門家と制度設計を再利用可能

競争優位

信頼領域への実装力



Cell Reprogramming

成長領域 / 先端医療の社会実装支援

- 研究・医療・倫理・データを接続
- 専門家ネットワークを医療領域へ展開
- 長期成長テーマを保有

競争優位

先端医療実装の橋渡し

3事業に共通する競争優位の源泉

1

専門家ネットワーク

法務・医療・金融・教育を横断

2

データ設計

課題・行動・成果を可視化

3

実装オペレーション

相談・契約・支援を運用可能に

4

事業間シナジー

接点・信頼・医療へ価値を再利用

比較でわかる優位性

比較軸	従来の福利厚生・EAP	単一領域サービス	HEROIC
入口	不調の顕在化後	特定テーマ発生時	迷い・不安の段階から先行介入
対応範囲	限定的	個別領域ごと	生活課題～制度～医療支援まで横断
支援内容	相談窓口中心	個別ソリューション	AI整理→専門家接続→行動支援
企業価値接続	利用率・満足度止まり	限定的	人的資本KPI・ESG・ROIへ接続
拡張性	横展開しにくい	クロスセルが限定的	3事業連携で収益機会を拡大

成長ロードマップ



MY HEROICの法人導入を起点に、制度DX・医療支援へ段階的に拡張する成長ストーリー



役員体制 | 制度・金融・企業導入を進める経営陣

法務・総合商社・金融・証券・事業再生の知見を結集。



取締役会長
永井 峻一

東京大学法学部卒業。三菱商事執行役員 北海道支社長。サウディ石油化学 代表取締役社長を歴任。



代表取締役
野口 慶太

認定司法書士。司法書士古田・野口事務所代表。東京司法書士会会員。現在、都市銀行東京本店、上場企業等専属特定司法書士。



専務取締役
滝澤 維世嗣

慶應義塾大学経済学部卒業。日本債券信用銀行入行。現在、風月堂代表取締役、慶應義塾連合三田会常議員 東京銀座ロータリークラブ会員。



常務取締役
池永 威彦

日興証券常務取締役、千葉大学特任教授、エクサウィザーズ監査役を歴任。現在、キーラック代表取締役。



監査役
原 大二郎

弁護士（第59期）。弘中総合法律事務所、清水直法律事務所を経て現在、ライジング法律事務所パートナー

専門家ネットワーク | 医療・AI・教育・IRを支えるアドバイザー

3事業の社会実装を支える高度専門人材。



代表監査委員
高瀬 義昌

医学博士。昭和大学客員教授。現在、たかせクリニック理事長 デジタル医学会副代表、在宅医療政治連盟副会長、日米医学医療交流財団会長、杉浦記念財団理事 未来研究所臥龍理事。



特別監査委員
小林 美亜

NY大学大学院博士課程修了、学術博士。東京大学医学部附属病院国立大学病院データベースセンター副センター長、国立病院機構本部診療情報分析部主任研究員。現在、山梨大学大学院総合研究部特任教授



テクニカルアドバイザー
橋田 浩一

東京大学大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター教授 理化学研究所革新知能統合研究センター社会における人工知能研究グループディレクターを経て現在、札幌市立大学AITセンター特任教授。



エデュケーションアドバイザー
沢井 佳子

お茶の水女子大学大学院修了。ひらけ! ポンキッキ、こどもちゃれんじしまじろうのわお!等の幼児教育・メディアで多数の賞を受賞。現在、チャイルド・ラボ所長、日本マクドナルドハッピーセット玩具監修。BPO青少年委員会委員。



コーポレートアドバイザー
永井 美保子

米国公認会計士。日本証券アナリスト協会認定アナリスト。資生堂コーポレートコミュニケーション本部長 現在、EdgeBridge代表社員、シンクロ・フード社外取締役、ブロードリーフ社外監査役。

株式会社HEROIC 企業概要



HEROICは、超高齢社会の課題を企業価値へ変換する社会OSカンパニー。

生活課題・契約/信用・医療支援を接続し、社会OSとして価値を循環・拡張します。



会社名 : 株式会社HEROIC (ヒロイック)
設立 : 2020年4月8日
所在地 : 東京都中央区日本橋小網町13-8
安田小網町ビル202

事業内容 : 社会インフラ・プラットフォーム提供事業
ソーシャルプロダクト提供事業

・ 主要サービス / 3事業 ・

01

MY HEROIC



企業導入 × 人的資本KPI
超高齢社会特有の悩み解決
プラットフォーム

02

Social Structure



デジタルトラスト基盤
スマートコントラクト型
任意後見・身元保証の
デジタルトラスト

03

Cell Reprogramming



生命科学支援サービス
生殖医療・再生医療
支援サービス



接点

生活課題に寄り添い、
多様な人とつながる



信頼

デジタルトラストで信用を創り、
安心を支える



成長領域

医療・再生領域へ価値を拡張し、
社会全体の成長に貢献

・ 3つの事業で価値を積み上げ、社会OSとして価値を循環・拡張します。 ・



<https://heroic.co.jp/>



info@heroic.co.jp



03-3664-8931